

我ら松田人 16



朽名 健心さん 15歳
(城山自治会)

PSTC ロンドリーナ

湘南ベルマーレフットサルクラブの下部組織であるロンドリーナに所属する朽名健心さんは、1月に行われたJFA第28回全日本U-15フットサル選手権大会全国大会に出場し1ゴール1アシストの活躍でした。朽名さんは、4歳からサッカーを始め、小学生から松田イレブンSCに所属しました。中学生からフットサルを本格的に始めました。中学生でフットサルを始めたのは、ボールを扱う足元の技術に自信があり、サッカーよりも繊細なボールタッチ技術が必要なフットサルなら、自分の長所を活かせると考え、中学生から本格的にフットサルを始めました。朽名さんが感じるフットサルの魅力は、「攻守の切り替えが早くプレ

ースピードが速いため気が抜けないところ」とのことです。

チームとしての目標であり初出場となった全国大会では、相手の体の向きや位置など状況を瞬時に判断し相手を抜き去るドリブルを武器に全試合に出場し、3試合目ではゴールも決めました。「全国大会は、技術面で通用する部分もあったが、フィジカル面のレベルが高く、県大会や関東大会にはない独特の緊張感があった。」と大会を振り返りました。

全国高校サッカー選手権で全国大会に出場することが夢である朽名さんですが、4月からは、昨年岩手県大会で準優勝の花巻東高校に進学します。目標に向かって新生活がスタートすることにワクワクする反面、生まれ育った松田町や親元を離れることに不安や寂しさを感じているそうです。

松田町では「放課後に河川敷で友だちとサッカーをよくやっていて、人や環境にも恵まれていた。」と語ってくれた朽名さんは、松田人としてフットサルで磨いたテクニクを武器に高校でも大暴れしてくれるはず。



松だるま

「シン・未来予想図」

松田町長 本山 博幸

松田町の桃源郷とも表現される最明寺史跡公園では、ソメイヨシノなどの樹木や草花が咲きほこり、春爛漫を迎える時節になりました。希望に満ちた新たな門出を迎えられた全ての皆さまにエールを贈ります。

まつだ桜まつりは、11万人を越える方に「足早い春を楽しんでいただけました。ご協力いただいた地域や関係する皆さまに感謝申し上げます。

また、コロナ禍の影響が続く中、国では、感染症分類を2類から5類に移行させ、ワクチン接種の無償化は1年間継続するものの、治療費などは患者の一部負担となるようです。引き続き予防対策をお願いいたします。

さて、令和5年度より令和8年度までの4年間の松田町の未来予想図・第6次総合計画後期アクションプログラムがスタートします。策定にあたり、町民の皆さまから多くのご意見・ご要望などを賜りましたことに感謝申し上げます。

ます。

さまざまなご意見などを踏まえ、『チルドレンファースト』継続からの『飛躍』の理念と融合した令和5年度からスタートする事業に加え、町の「夢の実現」と「すぐに実現が必要な事業」について、より具体的に意見を交わす場として、次の協議会を設置し議論を深めたいと考えています。仮称ですが、

①松田町買い物環境向上協議会、

②松田山活性化検討協議会、

③寄地区活性化協議会など。

各協議会につきましては、有識者だけでなく町民の皆さまのご参加により「町民目線の協働のまちづくり」の具現化を目指します。未来を担う子どもたちのため、また高齢化社会への対策として、子どもたちが子育て世代になっただけでなく、近くに住んでくれることにより安心して暮らせる町の実現に向け、ぜひご協力ご参画をお願いいたします。